

2025（令和7）年度

# 駒澤大学 × SDGs 活動報告書



駒澤大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



## 目 次

1. 学長メッセージ	03
2. SDGs とは	04
3. 駒澤大学SDGs 実行宣言	05
4. 2025（令和7）年度 駒澤大学における「SDGs」について取組み	07
特集：「駒澤大学×SDGs」と題したオンデマンド研修	08
（SDG：3）すべての人に健康と福祉を	10
（SDG：4）質の高い教育をみんなに	16
（SDG：5）ジェンダー平等を実現しよう	27
（SDG：7）エネルギーをみんなに そしてクリーンに	30
（SDG：8）働きがいも経済成長も	31
（SDG：10）人や国の不平等をなくそう	33
（SDG：11）住み続けられるまちづくりを	39
（SDG：12）つくる責任 つかう責任	43
（SDG：16）平和と公正をすべての人に	45
（SDG：17）パートナーシップで目標を達成しよう	46
（SDGs 全般）	47
リンク集	49

## 学長メッセージ

「縁起・智慧・慈悲」の精神で、持続可能な未来を拓く

駒澤大学は、仏教の教えと禅の精神を建学の理念とする伝統ある学び舎です。SDGsが掲げる「誰一人取り残さない」という理念は、実は2500年以上も前から仏教の中に息づいています。私たちは、万物が相互に関連し合う「縁起」、真実を見通す「智慧」、他者の痛みに共感する「慈悲」の三つの教えを大切にしてきました。この古くて新しい精神こそが、混迷する現代社会において私たちが進むべき「共通の羅針盤」になると確信しています。

本学では、この精神を具体的な実践へと結びつけています。例えば、環境・社会・経済の不可分性を説く「縁起」の視点は目標17（パートナーシップで目標を達成しよう）に、本質を見極める「智慧」は目標4（質の高い教育をみんなに）に、そして平等を希求する「慈悲」は、あらゆる不平等の解消に向けた原動力となります。駒大防災ハロウィンや学生への生活支援プロジェクトなど、身近な取り組みを「自分事」として積み重ねることが、地球規模の課題解決への確かな一歩となります。

本報告書の表紙を飾るSDGsのカラーホイールには、17の目標を示す色が並んでいます。この多種多様な色がそれぞれの個性を保ちながら円環を成しているように、本学の教育、研究、地域連携といった多角的な活動もまた、互いに「縁」によって深く結ばれ、持続可能な未来という一つの大きな目的を形作っています。個々の活動が多様性を保ったまま共鳴し、調和ある歩みを続けていくことで、より豊かな社会を築けると信じています。

駒澤大学はこれからも、この「縁起・智慧・慈悲」を現代社会の文脈に融合させ、知の拠点として情報を発信し続けます。学生、教職員、そしてパートナーの皆様と共に、持続可能な社会の構築に向けて、しなやかな意思をもって邁進していく所存です。

本報告書が、本学の取り組みを広くお伝えするとともに、皆様とともに歩む新しい未来への一歩となることを願っております。

駒澤大学長 村松 哲文

村松学長のSDGsに関する「学長メッセージ」

<https://www.komazawa-u.ac.jp/social/sdgs/sdgsmessage/>

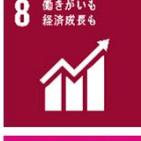
# SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。

（出典：外務省ホームページ）

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>

## ■SDGs17の目標

 <p>1 貧困をなくそう</p>	あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる	 <p>2 飢餓をゼロに</p>	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する
 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する	 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
 <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う	 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する	 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する
 <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る	 <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	国内及び各国家間の不平等を是正する
 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する	 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	持続可能な消費生産形態を確保する
 <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる	 <p>14 海の豊かさをやろう</p>	持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
 <p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する	 <p>16 平和と公正をすべての人に</p>	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
 <p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する		

# 駒澤大学 SDGs実行宣言

駒澤大学は、近未来における地球的規模での危機を十分に認識し、人類及び世界における持続可能な社会の構築のために2015年9月に国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）」に共感・賛同し、その達成に向けて、各国・各機関・各組織等をはじめとする様々な人々と密接に協力し、本学の教育・研究等の諸活動において、全学的に、積極的に貢献していくことを、ここに宣言します。

駒澤大学は、建学の理念「仏教の教義と曹洞宗立宗の精神」に基づき、「ともに、よりよい明日を築く」ことをその使命としてまいりました。これを原点として、近時、喫緊の課題となっている「ダイバーシティ&インクルージョン（多様性を認め、受け入れて活かすこと）」を推し進めるために、〈個〉を活かした「しなやかな大学の実現」を目指しています。

私たちは、長きにわたって本学が堅持してきた仏教的価値観が、「SDGs」という人類の英知に基づく網羅的な課題認識と呼応すると受け止め、「誰一人取り残さない社会の実現」と、「あらゆる存在を尊重する社会の実現」に向けて、今後とも主体的に目指してまいります。

「誰一人取り残すことなく、ともに、あらゆる存在を尊重する社会の実現」のために、本学は教職員、学生、地域社会など、様々なステークホルダーと協働し、以下のSDGsの達成に向けた行動目標を定め、積極的かつ具体的に取り組みを進めてまいります。

## SDGsの達成に向けた行動目標

- (教育) 駒澤大学は、質の高い教育の維持に努め、自ら考え、行動する人材を育成します。
- (研究) 駒澤大学は、専門的な学問の研究、技術開発の研究を推進し、その実践を目指します。
- (協働) 駒澤大学は、パートナーと協働し、知の拠点として情報を発信し、SDGsの達成に貢献します。

2022年4月28日  
駒澤大学



# Komazawa University SDGs Declaration

Komazawa University is fully cognizant of the risk of a global-scale crisis in the near future. We support the Sustainable Development Goals (SDGs), which were adopted at the September 2015 UN Summit with the aim of building a sustainable society for people and for the world. We hereby declare our intention to work closely together with countries, institutions, organizations, and various other parties and, through our education and research activities, to contribute to the achievement of these goals.

“Buddhist Teachings and the Spirit of Zen” are our founding principles, and our mission is “building a brighter future, together.” In order to encourage diversity and inclusion, which has in recent years become an issue of great importance, we seek to become a flexible university that maximizes “individuality.”

We have been committed to Buddhist values for many years, and we believe these values are closely compatible with SDGs, which are a reasoned summation of the issues facing our planet. Going forward, we will actively seek to realize a society in which no one is left behind, and in which all forms of life are respected.

For the sake of a society in which no one is left behind, and in which all forms of life are respected, our university has worked together with various stakeholders—including our academic staff, students, and local communities—to formulate the target actions listed below to achieve SDGs. We will actively implement concrete initiatives to this end.

## **Target actions to achieve SDGs:**

- |                 |   |
|-----------------|---|
| (Education)     | At Komazawa University, we will endeavor to provide a consistently high level of education, and nurture people capable of thinking and acting for themselves.                         |
| (Research)      | At Komazawa University, we will encourage research in specialized fields of learning and research in technical development, and seek to put the fruit of this research into practice. |
| (Collaboration) | At Komazawa University, we will work together with our partners, transmit information as a bastion of learning, and contribute to the realization of SDGs.                            |

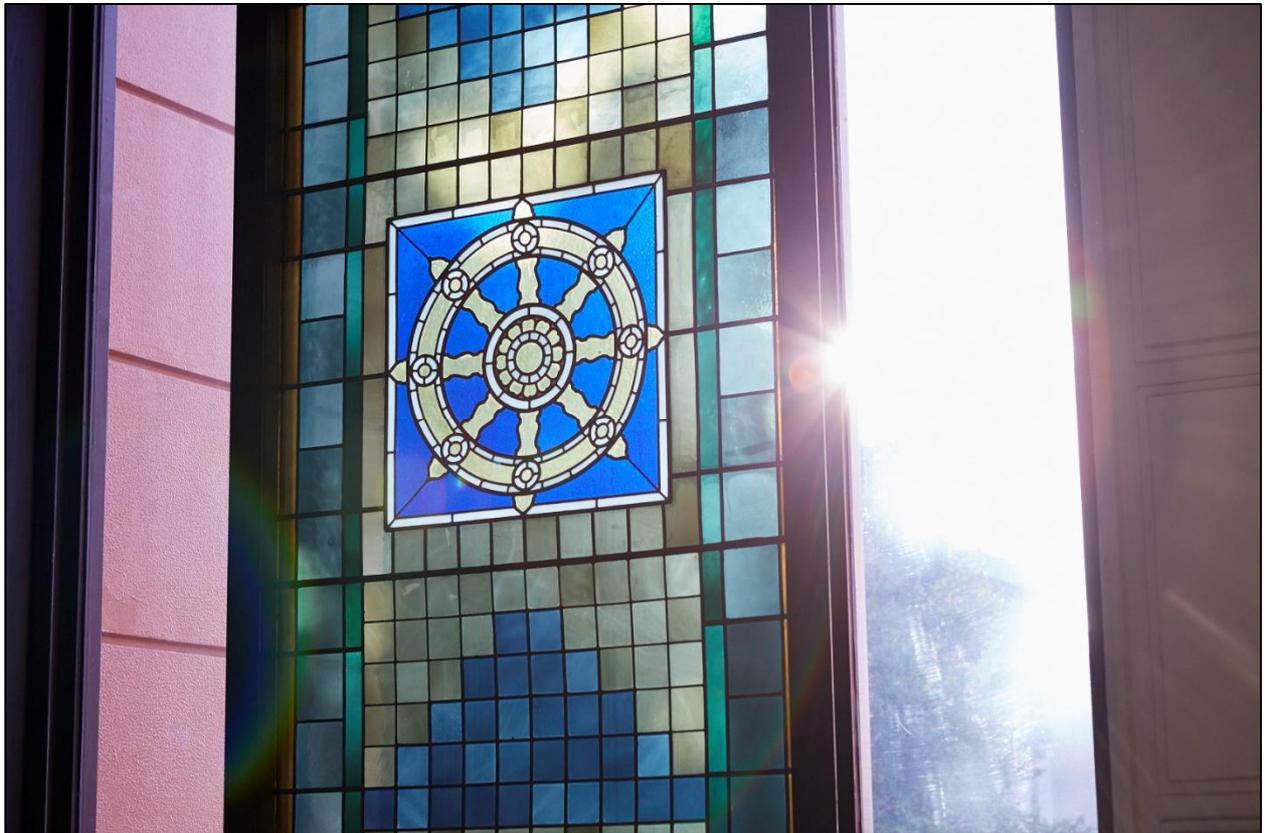
Komazawa University  
April 28, 2022



## 2025年度 駒澤大学における「SDGs」についての取り組み

駒澤大学では、「SDGs」に関連した取り組みを行っています。また教育活動、研究活動においても「SDGs」について取り扱い、その目指す社会の実現に向けて広く活動を行っています。

本報告書では、2025年1月から12月までの間に行った本学の取り組みについて、その一部を17の目標別に紹介します。





## 特集：「駒澤大学×SDGs」と題したオンデマンド研修

本学らしい「SDGs」のあり方について、学生・教職員が一層理解を深める機会とするとともに、本学の関係者の皆様にお伝えするツールとして、2023年3月より「駒澤大学×SDGs」と題してオンデマンド形式によるSDGs研修動画を配信しています。

2025年12月までに計9本の動画を、本学公式YouTubeチャンネルにて、公開してまいりました。

駒澤大学公式YouTubeチャンネル「[駒澤大学×SDGs](#)」

### 研修動画リスト

	テーマ	講師
Vol.01	<a href="#">仏教・禅とSDGs</a>	永井 政之 駒澤大学 総長
Vol.02	<a href="#">駒澤大学 SDGs実行宣言 ～大学としての取り組みについて～</a>	各務 洋子 駒澤大学長（2022年収録時） グローバル・メディア・スタ ディーズ学部 教授
Vol.03	<a href="#">ジェンダー平等を目指して SDGs目標5 ジェンダー平等を実現しよう</a>	松信 ひろみ 文学部 社会学科 教授
Vol.04	<a href="#">駒澤大学の禅と社会活動</a>	石井 清純 仏教学部 禅学科 教授
Vol.05	<a href="#">健全な人間生活は、健全な地球環境に宿る</a>	清水 善和 名誉教授 総合教育研究部 自然科学部門 教授（2023年収録時）
Vol.06	<a href="#">北欧の大学を中心としたサステナビリティの 推進体制</a>	青木 茂樹 経営学部 市場戦略学科 教授
Vol.07	<a href="#">竹林のランドスケープ・デザイン</a>	鈴木 重雄 文学部 地理学科 教授
Vol.08	<a href="#">学生自らが興味を持ち主体的に学習する教育</a>	近藤 啓介 医療健康科学部 診療放射線技 術科学科 教授
Vol.09	<a href="#">自作教材で広がる放射線リテラシーの輪：持 続可能な教育モデルへの挑戦</a>	村田 渉 医療健康科学部 診療放射線技 術科学科 講師



## 特集：「駒澤大学×SDGs」と題したオンデマンド研修

2025年12月には、今年度のSDGs研修として、さらに3本の動画を撮影しました。これらの動画は2026年1月に公開されました。

### 令和7年度の研修動画リスト

	テーマ	講師
Vol. 10	<p><u>縁起・智慧・慈悲とSDGsの融合</u> <u>—実践するSDGs—</u></p>	<p>村松 哲文 駒澤大学長 仏教学部 禅学科 教授</p>
Vol. 11	<p><u>刑事司法の「他人事」を「自分事」に</u> <u>—裁判員制度から考えるSDGs—</u></p>	<p>松本 英俊 大学院 法曹養成研究科 教授</p>
Vol. 12	<p><u>ESG：現在地と将来</u></p>	<p>井上 健一 法学部 法律学科 教授</p>



## 「食支援プロジェクト」第7弾及び「食支援プロジェクト(ミニ)」

学生支援とフードロス防止を目的に食品等を無償配布

学生支援センター

学生支援推進課 学生支援推進係

7月29日(火)~31日(木)、学生を対象とした「食支援プロジェクト」第7弾を開催しました。このプロジェクトは、本学が2021年度から継続的に実施する、学生支援とフードロス防止を目的として食品等を無償配布する取り組みで、開催に際しては、駒澤大学教育後援会(父母会)をはじめ、たくさんの企業・団体・個人の皆さまからご支援をいただいています。また、今年度は「物価高に対する食の支援事業」として独立行政法人日本学生支援機構からの助成金も活用し、3日間で2,034人の学生に食品等を無償配付しました。併せて、昨年度に引き続き、世田谷区の協力を得て、栄養士との相談や野菜摂取量が測定できるブースなども併設し、学生自身が健康を考える機会にも繋げました。

また、11月19日(水)、「食支援プロジェクト」第7弾の残余物資、管財部より供与を受けた使用期限の近い防災備蓄品等を活用して「食支援プロジェクト(ミニ)」を追加実施し、1,592人の学生に対して食品等を無償配付しました。学生からは「食品ロスや物価高騰などの社会問題がある中でこうした取り組みはととてもありがたいとても良い考えだと思う」「野菜ジュースや乾燥野菜など、健康に気遣ったラインナップもありがたかった」といった言葉が寄せられました。

配付の様子は、[駒澤大学学生支援センターのInstagram](#)をご覧ください。

なお、本学では「[駒澤大学カラダスマイルプログラム](#)」として学生の健康支援に取り組んでおり、「食支援プロジェクト」もその一環として行われています。



関連するSDGs





カラダスマイルプログラム	
「朝だけ10円サラダ」と「ランチ50円サラダバー」を実施	
総務部／学生支援センター	学生支援推進課 学生支援推進係

駒沢キャンパス学生食堂にて、学生対象の「朝だけ10円サラダ」・「ランチ50円サラダバー」を実施しました。

この取り組みは、2023年度の野菜摂取量測定において、本学学生の野菜摂取不足が明らかになったことから、栄養バランスの良い食生活を意識してもらうために、駒澤大学教育後援会（父母会）・銀座スエヒロカフェテリアサービス・株式会社ニッポンの協力のもと企画したものです。

また、2024年度からは、カゴメ株式会社の「ベジチェック®」を学内に設置しています。推定野菜摂取量を手軽に測定できるようになったことで、毎日の食生活の改善に役立てられます。

なお、本学では「[駒澤大学カラダスマイルプログラム](#)」として学生の健康支援に取り組んでおり、これらの取り組みはその一環として行われています。





## 「スポーツフェスティバル in 玉川 2025」

体育会サークル所属学生による様々なイベントを行いました

学生支援センター

学生課 学生係

11月23日（日）、玉川キャンパスで「[スポーツフェスティバル in 玉川 2025](#)」が開催されました。このイベントは、主に小学生を対象に「大学と地域社会との交流」と「地域における共生社会の実現」を目的として毎年行われています。

当日は、グラウンドや体育館で学生アスリートによるスポーツ教室や体験会など、体育会サークル所属学生による様々なイベントが行われ、参加者は多くの競技に挑戦しました（参加者318人）。

また、大塚製薬㈱・スフィード世田谷・駒澤大学放射線同窓会（順不同・敬称略）の協賛のもと、食や栄養について学べるブースや、ブラインドサッカー、骨密度測定、血管年齢測定などを実施いたしました。



関連するSDGs





## 駒澤大学公開講座 健康づくり教室

1984年より地域の皆様の健康増進のために開講しています

学術研究推進部

社会連携課(社会連携センター)

本学では、大学における研究と教育の成果を広く社会に還元し、また大学の施設を開放することにより、地域の皆さまの健康増進の一助となることを目的として、1984年4月から「[健康づくり教室](#)」を開講しています。

地域の皆さまのご要望によって新たに種目を取り入れるなど工夫を重ねながら、今日まで継続しております。

### 2025年度の健康づくり教室

#### <第1期>

ジョギングコース	2025年 5月11日(日) ~ 2025年 6月 8日(日) の日曜日	全4回
小学生の体操	2025年 5月11日(日) ~ 2025年 6月 8日(日) の日曜日	全4回
ゴルフレッスン会	2025年 5月11日(日) ~ 2025年 6月 8日(日) の日曜日	全4回

#### <第2期>

ジョギングコース	2025年 9月21日(日) ~ 2025年10月19日(日) の日曜日	全4回
小学生の体操	2025年 9月21日(日) ~ 2025年10月19日(日) の日曜日	全4回
ゴルフレッスン会	2025年 9月21日(日) ~ 2025年10月19日(日) の日曜日	全4回

※各講座とも、2025年9月28日(日)を除く

#### <第3期>

ジョギングコース	2026年 1月18日(日) ~ 2026年 2月 15日(日) の日曜日	全4回
小学生の体操	2026年 1月18日(日) ~ 2026年 2月 15日(日) の日曜日	全4回
ゴルフレッスン会	2026年 1月18日(日) ~ 2026年 2月 15日(日) の日曜日	全4回

※各講座とも、2026年2月1日(日)を除く



関連するSDGs





## コミュニティ・ケアセンターの取り組み

コミュニティ・ケアセンター

駒澤大学コミュニティ・ケアセンターでは、メンタルヘルス、対人関係、お子さんの発達・教育などに関する問題や悩みについて心理的援助（カウンセリング、心理テスト等）を行っています。

### ●コミュニティ・ケアセンター 第39回公開講座

#### 【自分らしい子育てって?】

『アクセプタンス&コミットメントセラピーとペアレント・トレーニングを知ってみよう』

《開催日時》12月6日（土） 14：00～15：30

講師：岡島 純子（駒澤大学文学部准教授）

入場無料  
先着30名

第39回公開講座  
駒澤大学コミュニティ・ケアセンター

自分らしい子育てって？

ACT & Parent

アクセプタンス&コミットメントセラピーと  
ペアレント・トレーニングを知ってみよう

2025年12月6日(土)  
14:00～15:30(13:30開場)

講師：岡島純子  
駒澤大学文学部准教授

会場：講義室1-2  
深沢キャンパス深沢校舎1階  
※駐車場はございませんので、  
電車・バス等をご利用ください。

大きな地図は  
こちら↓

コミュニティ・ケアセンターのHP(左記二次元コード) もしくは  
お電話(☎03-5431-5200)にてお申し込みください

なお、この講座は、「せたがやeカレッジ」にてご視聴いただけます。

※「せたがやeカレッジ」とは…

世田谷区内6大学（国士舘大学・昭和女子大学・成城大学・東京都市大学・東京農業大学・駒澤大学）と世田谷区教育委員会が共同で運営する「生涯学習Webサイト」です。

関連するSDGs





世田谷区ACPポスター活用

世田谷区ACP療養講座にてポスター展示

経営学部

小野瀬拡ゼミナール

小野瀬ゼミナールでは、2023年度の駒大生社会連携プロジェクト「世田谷区ACP普及啓発のためのデザイン」の活動を継続的に実施しております。3年目となる本年度は、その活動の一環として、12月6日（土）に世田谷区立保健医療福祉総合プラザで開催された「在宅療養講座」にて、[新たに制作したACP普及啓発ポスターを掲示](#)しました。これまでの作品も含め、多数の参加者の皆様にご覧いただきました。





## 駒澤大学旧図書館が国の登録有形文化財(建造物)登録

禅文化歴史博物館

現在、禅文化歴史博物館として利用されている旧図書館（禅文化歴史博物館・耕雲館）は、1923（大正12）年の関東大震災により一部が倒壊した初代図書館にかわって建築され、1928（昭和3）年から2代目図書館として使用が開始されました。

同館は、関東大震災からの復興期に隆盛したライト風（式）建築の第一人者とされる菅原榮蔵氏の設計による建物で、同氏の代表作の一つに数えられています（森田錠三郎氏施工）。

この度、2025（令和7）年8月6日付官報（第1522号）の文部科学省告示第63号において、[「駒澤大学旧図書館（禅文化歴史博物館・耕雲館）」](#)が文化財登録原簿に登録されたことが告示されました。これをもって、同建造物は正式に国の登録有形文化財（建造物）になりました。



7月1日（火）には、駒沢キャンパスで[駒澤大学旧図書館（禅文化歴史博物館・耕雲館）](#)の国の「登録有形文化財（建造物）」登録決定記念式典が執り行われました。

この式典は、同館の文化財登録を記念するもので、永井政之導師のもと、仏式の記念法要が営まれました。その後、村松哲文学長からの挨拶、代表者による焼香、ご来賓の紹介が行われ、最後に、小川隆館長より、関係者への謝辞ならびに同館を通じ大学が社会へ貢献し、さらなる発展を遂げていく展望が語られました。



参照：

[駒澤大学旧図書館（禅文化歴史博物館・耕雲館）が国の登録有形文化財（建造物）登録決定](#)

関連するSDG





禅・仏教の文化・歴史を広く世界に向けて公開

学芸員養成に資する場としても教育研究活動に貢献しています

禅文化歴史博物館

駒澤大学禅文化歴史博物館は、本学の特色を活かした禅（仏教・宗教）の文化、歴史を中心とする博物館とし、一般公開することにより、地域社会のみならず、広く世界へ向けて大学の情報を発信する基地としての役割を担っています。

また、学芸員資格取得希望者を抱える本学博物館学講座に協力し、講座・実習の充実を図り、本学の特色を活かした優秀な学芸員を社会に送り出すための教育研究を実践しています。

### 2025年の展示・催事

- |                        |  |
|------------------------|--|
| (2025.1/8~1/31)        | 禅林歳時記「禅寺の正月」   |
| (2025.1/30~1/31)       | 『正法眼蔵辨註』版木保存作業   |
| (2025.2/15~2/28)       | 特別公開「大涅槃図」   |
| (2025.2/15)            | 第44回禅博セミナー<br>「太田治兵衛と本学大涅槃図が紡いだ250年の物語」  |
| (2025.3/26~4/8)        | 春季特別公開「正法眼蔵嗣書」・花まつり  |
| (2025.4/7~7/31)        | 特集展29 大学昇格100周年記念展「曹洞宗大学から駒澤大学へ」   |
| (2025.5/12~7/31)       | 有形文化財(建造物)登録記念企画展「大正モダン 復興の図書館」  |
| (2025.7/1)             | 「駒澤大学旧図書館」国の有形文化財(建造物)登録記念式典<br>有形文化財(建造物)登録記念セミナー<br>「建設から営繕へ -駒澤大学 耕雲館・洋館……」 |
| (2025.7/2~7/30)        | 禅林歳時記「精霊棚(お盆飾り)」   |
| (2025.7/4・7/7)         | ふれあい七夕まつり2025  |
| (2025.7/19~7/29)       | 夏休み子どもぜんぱく   |
| (2025.7/19~7/30)       | 夏の特別企画 学芸員とめぐる「禅の世界」開催8日程  |
| (2025.10/6~11/15)      | 没後60年企画展<br>「澤木興道老師と駒澤大学~只管打坐と行雲流水を貫いた禅僧~」                                     |
| (2025.10/13~2026.3/31) | 大学史展示30「大内青巒と修証義」  |
| (2025.10/29)           | 第46回禅博セミナー<br>「駒澤大学に坐禅の授業を始めた澤木興道という人」   |
| (2025.10/1~10/31)      | 禅林歳時記「達磨忌」   |
| (2025.11/20)           | 第17回 ふれあい禅寺めぐり「臨済宗円覚寺」   |
| (2025.11/26~12/20)     | 第19回駒澤大学博物館学講座企画展「七福神と江戸時代の文化」   |
| (2025.12/8)            | 第40回禅博実践セミナー「臘八坐禅」   |
| (2025.12/15~2026.3/31) | わくわくぜんぱく探検ジャー!   |

禅文化歴史博物館の活動の詳細は以下のホームページ・SNS等をご参照ください。

公式ホームページ：[禅文化歴史博物館](#)

Google Arts & Culture：[駒澤大学禅文化歴史博物館（日本語版）](#)

公式YouTube：[禅博チャンネル](#)

公式X（旧Twitter）：[@zenpaku2002](#)

公式Instagram：[ZENスタグラム](#)

関連するSDGs



4 質の高い教育を  
みんなに



夏休み 子どもぜんぱく

「子どもぜんぱくぬりえ展」も開催しました

禅文化歴史博物館

7月19日（土）から29日（火）まで、禅の博物館である「ぜんぱく」を身近に感じていただけるよう、「[夏休み子どもぜんぱく](#)」を開催しました。期間中は、「ぜんぱくぬりえ」、「ぜんぱく浮世絵すり絵体験」、「わくわくぜんぱく探検ジャー」といったイベントを行い、多くのお子様に挑戦していただきました。

また、9月16日（火）から11月2日（日）までの期間には、小学生の皆様が描いた素晴らしい作品を紹介する「[子どもぜんぱくぬりえ展](#)」を開催し、たくさんの力作をご覧いただきました。



関連するSDGs



4 質の高い教育を  
みんなに



わくわくぜんぱく探検ジャー！

世田谷区教育委員会の事業に協力しています

禅文化歴史博物館

「[わくわくぜんぱく探検ジャー！](#)」は、禅文化歴史博物館マスコット「しし君」と一緒に館内を探検しながらクイズに挑戦し、楽しみながら禅や仏教について学ぶことができるイベントです。

2025年度の開催期間は2025年12月15日（月）から2026年3月31日（火）で、小学生・中学生を対象として開催しています。

このイベントは、世田谷区教育委員会「わくわくウィンタープラン2025-2026」への協力事業として行うものです。



関連するSDGs





## 学校法人駒澤大学フェローによるトークイベント

広報戦略室

学校法人駒澤大学では、広く一般の方に高い教養の学びの場を提供し、社会に資するため、学校法人駒澤大学フェロー制度により任命されたフェローによる講演会・トークイベントを実施しています。今年度は、駒澤大学陸上競技部総監督でもある大八木弘明フェローが、陸上競技部監督時代の教え子を迎え、夢を追い続けることの大切さをテーマとしたトークイベントを開催しました。当日は433名が参加し、駅伝ファンの皆様その他、学生、卒業生、近隣住民の方、若者の教育に携わる方、親子連れ、企業でチームを率いる方など、様々なお立場でご聴講いただきました。

### <学校法人駒澤大学フェロートークイベント2025>

#### 「師弟対談 夢を追い続ける力」

日時：2025年9月22日（月）18：00～19：30

会場：駒沢キャンパス 記念講堂

登壇者：大八木 弘明 氏（学校法人駒澤大学フェロー）

ゲスト：前田 康弘 氏（國學院大學陸上競技部監督）  
高林 祐介 氏

（立教大学体育会陸上競技部男子駅伝監督）

MC：三上 高史（M 高史）氏（ものまねアスリート芸人）

※ゲスト・MCともに本学陸上競技部卒業生

学校法人駒澤大学フェロートークイベント2025

おみやぎ ひろあき  
大八木 弘明  
学校法人駒澤大学フェロー  
駒澤大学陸上競技部総監督  
Guest project 代表

師弟対談  
夢を追い続ける力

2025.  
9.22(月) 18:00～19:30

今年のイベントでは、長年にわたり大学駅伝部を率い、数々の栄誉を手でしてきた大八木弘明フェローと、その教え子であり、現在はそれぞれが率いるチームで活躍を続ける前田康弘氏、高林祐介氏が登場します。本学陸上競技部で監督の経験から、現代のアスリートの個性の発露や学生生活、そして夢を持つことの大切さについて、師弟ならではの視点から語り合っていきます。両会場は、同じく本学陸上競技部ゆかりの三上高史（M高史）氏がMCを務めます。

開催地 駒澤大学 駒沢キャンパス記念講堂

MC 三上 高史 (M高史) 氏  
（本学陸上競技部卒業生）

ゲスト 前田 康弘 氏  
（立教大学体育会陸上競技部男子駅伝監督）  
高林 祐介 氏  
（本学陸上競技部卒業生）

QRコードの読み取りまたは  
大学公式ホームページの  
フォームからお申し込みください。  
先着順・事前予約制・無料  
参加費でも申し込みは必須です。  
詳細は下記ご参照ください。

駒澤大学フェロー トークイベント2025 開催

〒112-8601 東京都目黒区駒沢 駒澤大学広報戦略室 TEL:03-5418-0123  
http://www.komasu-u.ac.jp/

関連するSDG

8 働きがいも  
経済成長も





## 駒澤大学公開講座

学術研究推進部

社会連携課(社会連携センター)

駒澤大学では、大学における研究と教育の成果を広く社会に還元し、教養と文化の向上に寄与することを目的として、公開講座を開講しています。

### 前期公開講座

#### 対面講座

- 4月5日(土) 【道元の思想と表現】  
講師：頼住 光子(仏教学部 仏教学科 教授)
- 5月10日(土) 【現代家族を読み解く - 変容する家族のかたちを考える -】  
講師：松信 ひろみ(文学部 社会学科 教授)
- 6月7日(土) 【日本の出版文化のおもしろさ - 絵本を中心に -】  
講師：内藤 寿子(総合教育研究部 日本文化部門 教授)
- 7月12日(土) 【江戸の捨て子と江戸で彷徨う旅人】  
講師：中野 達哉(文学部 歴史学科 教授)



#### オンデマンド配信講座

- 4月講座 【「般若心経」を読む】(2023年度後期講座 再配信)  
講師：吉村 誠(仏教学部 仏教学科 教授)
- 5月講座 【忙しい人のためのドイツ文学入門】  
講師：吉中 俊貴(総合教育研究部 外国語第二部門 教授)
- 6月講座 【働きやすい職場を作るリーダーシップ】  
講師：日野 健太(経営学部 経営学科 教授)
- 7月講座 【宋代禅僧の日常 - 禅宗儀礼を中心に -】  
講師：小早川 浩大(仏教学部 禅学科 非常勤講師)



関連するSDGs





## 駒澤大学公開講座

学術研究推進部

社会連携課(社会連携センター)

### 後期公開講座

#### 対面講座

- 10月4日(土) 【インドの多様性 - 宗教と食 -】  
講師：三代 舞 (仏教学部 仏教学科 講師)
- 11月15日(土) 【初めて学ぶ著作権法 - SNSやWebサイトで情報発信するための基本ルール -】  
講師：小嶋 崇弘 (法学部 法律学科 准教授)
- 12月20日(土) 【江戸日本橋の架橋と江戸周辺地域】  
講師：菅野 洋介 (文学部 歴史学科 准教授)
- 1月24日(土) 【バレーボール観戦力養成講座 スポーツをもっと気軽に、もっと身近に】  
講師：鈴木 淳平  
(総合教育研究部 スポーツ・健康科学部門 教授)

#### オンデマンド配信講座

- 10月講座 【非暴力の道 - ジャイナ教入門 -】  
講師：堀田 和義 (仏教学部 仏教学科 講師)
- 11月講座 【文化とグローバル化の20世紀からの中・長期的展望】  
講師：川崎 賢一 (駒澤大学 名誉教授)
- 12月講座 【事故と損害賠償】  
講師：青野 博之 (駒澤大学 名誉教授)
- 1月講座 【食べることは生きること！ - 日本の食と農を考える -】  
講師：三浦 佳子 (経済学部 商学科 非常勤講師)  
河原林 孝由基 (経済学部 経済学科 非常勤講師)



関連するSDGs





## 夏休みこどもアカデミー2025

「放射線と防護材の相性を学ぶ！科学×カードゲーム講座」

学術研究推進部

社会連携課(社会連携センター)

7月30日（水）に深沢キャンパスにて、「[夏休みこどもアカデミー2025](#)」を開催しました。

このプログラムは夏休みを迎えた小学生向けに地域貢献の一環として無料で開講したもので、事前に応募いただいた小学生とその保護者の方々にご参加いただきました。

今回は医療健康科学部の 村田 渉 講師が、「放射線と防護材の相性を学ぶ！科学×カードゲーム講座 - 放射線お化けから身を守ろう！-」と題して、放射線の種類（ $\alpha$ 線・ $\beta$ 線・ $\gamma$ 線など）やその性質、そしてそれぞれに適した防護材（紙・アルミニウム・鉛・水など）との相性について講演しました。

講演後には、駒澤大学ラジエーションサークルのオリジナルカードゲーム「放射線お化けから身を守ろう！」を使い、「[令和7年度 駒大生社会連携プロジェクト](#)」に採択されたRED-RINGプロジェクトの協力学生たちと一緒に遊びながら放射線に関する正しい知識と防護の基本を学んでいただきました。



関連するSDG



4 質の高い教育を  
みんなに



## 東京都世田谷区奥沢城跡測量調査

文学部歴史学科

考古学専攻

「考古学発掘実習Ⅰ」の一環として世田谷区と協力し、5月26日(月)から6月7日(土)の期間、[奥沢城跡の土塁の測量調査](#)を実施しました。

奥沢城跡は中世に築かれた居館で、世田谷区指定史跡になっています。

参加した学生は主体的に測量調査に取り組み、測量した土塁の形状など特徴を記録することができました。



関連するSDG



4 質の高い教育を  
みんなに



## 埼玉県毛呂山町大類古墳群測量調査

文学部歴史学科

考古学専攻

「考古学発掘実習Ⅰ」の一環として毛呂山町と協力し、8月31日(日)から9月7日(日)の期間、埼玉県入間郡毛呂山町にて[大類古墳群 \(おおるいこふんぐん\) の測量調査](#)を実施しました。

今回は大類23・24・25・27号墳の調査を実施し、古墳の形や規模、築かれた年代などについて調査を行いました。



関連するSDG



4 質の高い教育を  
みんなに



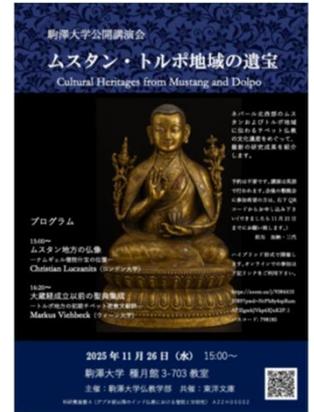
## 駒澤大学公開講演会

「ムスタン・トルポ地域の遺宝」を開催しました

仏教学部

11月26日（水）、駒沢キャンパスにおいて駒澤大学公開講演会「ムスタン・トルポ地域の遺宝」を開催しました。本学教職員・学生、および一般の方々を対象とし、対面とオンライン併用のハイブリッド形式で行いました。

海外から2名の講師の先生をお招きし、それぞれ、Christian Luczanits先生（ロンドン大学）には「ムスタン地方の仏像—ナムギエル僧院什宝の位置—」、Markus Viehbeck先生（ウィーン大学）には「大蔵経成立以前の聖典集成—トルポ地方の初期チベット密教文献群—」と題してご講演いただきました。最新の研究成果について豊富な画像資料とともにご紹介いただきました。



関連するSDG



4 質の高い教育を  
みんなに



## 放射線画像の解析技術を競う大会

「第7回ブラックボックスコンテスト」を開催しました

医療健康科学部

近藤 啓介

JSPS科研費 JP21K12162「診療放射線技師教育における課題解決型の教育コンテンツと教育用ファントムの開発」で研究開発した内容をもとにブラックボックスコンテストを開催しました。このコンテストは、X線画像の画像解析技術を競う大会で、専門知識を利用した創造力や考察力、そしてチーム力を育成することを目的としています。

今回の大会（2025年3月28日）では、2大学7チームが参加しました。優勝チームは120点満点中116点の高得点を出しました。年々参加チームのレベルが上がっているようです。

また、株式会社ジャパンコンサルタントアンドメディカルサービスより1位から3位のチームには、副賞のQUOカードを提供していただきました。

関連するSDG





サイエンスアゴラ2025(主催:科学技術振興機構)

体験型ブース「医療X線画像の仕組みを考えよう!」を出展しました

医療健康科学部

近藤啓介

JSPS科研費 JP21K12162「診療放射線技師教育における課題解決型の教育コンテンツと教育用ファントムの開発」の成果をもとに、小学5・6年生、中学生、高校生の皆さんが、直に見る、聞く、触れることで科学の興味深さや面白さを体験してもらう目的で、サイエンスアゴラ2025(2025年10月25~26日)に体験型ブース「医療X線画像の仕組みを考えよう!」を出展しました。

小学5・6年生にも理解できるように簡略化した教材を作成しました。X線の吸収率が異なる立方体ブロックが3種類あります。わかりやすく種類ごとに黄色・青色・橙色を付けてあります。これを縦横高さが各2個となる黒い箱に入れて、上面・正面・側面からX線撮影をします。得られたX線画像を解析して、どこに何色のブロックが入られたかを解析してもらいました。

2日間で182名の方に体験いただきました。ブースに来ていただきお話しした方も含めると300人以上になります。

X線画像解析の体験を通して、「病院で何故に複数方向から撮影するのかの理由がよく分かった。」など医療X線の仕組みや面白さが伝えられた有意義な出展となりました。



上面

正面

側面



関連するSDG





## 2025年放射線教材コンテスト(主催:日本科学技術振興財団)

優秀賞と全国小学校理科研究協議会特別賞を受賞しました

ラジエーションサークル

「ラジエーションサークル」の学生チーム（医療健康科学部の1・2年生6名、指導教員：医療健康科学部 近藤啓介・村田渉）が、「2025年度放射線教材コンテスト」にて優秀賞と全国小学校理科研究協議会特別賞を受賞しました。また、2025年12月27日（土）の放射線教育発表会にて開発教材の実演発表を実施しました。

作品名は「がんを撃退！色の重なりでわかる治療シミュレーション」で、放射線治療の仕組みを体験できる教材になります。放射線治療において体の中の癌だけに放射線を照射し、大事な部位には出来るだけ放射線を照射しないように、放射線の照射の仕方を考えることができる体験型教材になっています。

ラジエーションサークルとしては、同コンテストにおいて、2022年は2チームが受賞（最優秀賞と優秀賞）、2023年は1チームが受賞（最優秀賞）、2024年は1チームが受賞（最優秀賞）しており、4年連続の受賞となります。過去の受賞作品は、実際に学校で教材として利用されています。



関連するSDG





## 「生理を理解しようとするセミナー・生理痛VR体験会」

学生支援センター

学生支援推進課 学生支援推進係

11月24日（月）に駒沢キャンパス種月館（3号館）にて、学生および教職員を対象とした「生理を理解しようとするセミナー・生理痛VR体験会」を開催しました。

本学の学校医である松本純子医師が、生理に関する認識、周期、ホルモン変化、症状や病気、影響や損失、低用量ピルなどの対処方法、関連制度、社会の取り組みなどについて、データを用いて解説しました。

また、大阪ヒートクール株式会社製の生理痛VR体験デバイス「ピリオノイド」を使用した体験会も実施し、学生や教職員が34人（対面：学生17人、職員：8人／オンライン：9人）が生理痛を擬似体験し、参加者の多くは男性でした。



本学は2021年度から生理用品の支援を継続しており、企業の協力を得て生理用ナプキンの無料配布や、学内トイレへの無料ディスペンサー「0iTr（オイテル）」の設置を行ってきました。これらの支援を通じて、経済的困窮だけでなく「周囲からの無理解」といった課題解決にも取り組んでいます。

イベントでは、家族やパートナー、同性・異性の理解や、働く女性が能力を最大限発揮する事のできる職場環境づくりのためなど、生理について意欲的に理解する姿が多く見られました。性差や個人差に関わらず、ジェンダー平等の実現を目指す前向きな機会となりました。



共催：ダイバーシティ推進委員会

関連するSDGs



5 ジェンダー平等を  
実現しよう



## Tokyo Pride 2025

文学部社会学科の松信ゼミがボランティア参加しました

文学部

松信ひろみゼミナール

文学部社会学科の松信ひろみゼミが、6月7日（土）・8日（日）に代々木公園イベント広場で開催された「Tokyo Pride 2025」にボランティアとして参加しました。

ゼミ生たちは、本部の公式グッズ販売やアンケート、パレード誘導などの活動に加え、世田谷区ブースでチラシ配布なども担当しました。さらに、同ブースでは、松信ゼミが取り組む世田谷区内の小中学校向けLGBTQ出前講座の活動も紹介されました。



関連するSDGs



5 ジェンダー平等を  
実現しよう



## LGBTQ+についての出前講座

文学部社会学科の松信ひろみゼミの4年生が講座を行いました

文学部

松信ひろみゼミナール

9月26日（金）に文学部社会学科の松信ひろみゼミの4年生が、[世田谷区内の小中学校でLGBTQ+についての出前講座](#)を行いました。

当日は6年生の2クラスそれぞれの教室で自作の資料を使って講座を行いました。資料は昨年度3年次の演習で行った多くのLGBTQ+当事者の方へのインタビュー調査に基づいて作成したものです。4年生のゼミ生にとっては、小学生を対象とした教室での講座は初めての経験であり、学生には緊張も見られましたが、休み時間には児童の皆様と交流するなど、和やかな雰囲気の中で講座を行うことができました。

児童の皆さまや先生方からは大変分かりやすいお話だったと好評をいただきました。



関連するSDGs





## 「ジェンダー論」

社会学のフレームワークで「性差」と社会構造を問い直しました

文学部

松信ひろみ

この授業では、現代社会における諸現象を「ジェンダー」という独自の視点から読み解く試みを行いました。ジェンダーの視点で社会を捉えることは、単に女性に関する差別や問題を扱うだけではなく、男女という「性差」の観点から社会構造そのものを問い直すことに繋がります。

具体的には、家庭や職場における性役割の固定化や、有償労働と無償労働の偏りといった現状を分析しました。さらに、ファッションや言葉などの文化、メディア、スポーツといった身近な事例を通じ、社会の多様な側面に潜むジェンダーの問題について考察を深めました。

また、SDGsのゴール5「ジェンダー平等を実現しよう」のみでなく、その他のゴールにおいても「ジェンダー平等」に関連する多くのターゲットが含まれていることを検討し、SDGsにおける「ジェンダー平等」の視点と重要性について確認しました。

講義では各受講生が関心を持ったテーマに関して研究報告を行うなどアクティブ・ラーニングを取り入れ、双方向の対話を通じて学生が自ら課題に気づき、解決に向けて主体的に行動できる、社会学的な複眼的思考力と正しい知識を習得する機会となりました。

関連するSDG





2025(令和7)年度 駒澤大学省エネルギーへの取り組み	
管財部	

### 2025（令和7）年度 駒澤大学省エネルギーへの取り組み

駒澤大学では、国および東京都より省エネルギーの継続的な取り組みを求められています。省エネルギー企画推進委員会で承認された省エネルギー対策に大学全体で取り組んでおります。

#### 1. 2025（令和7）年度 今夏の省エネルギー対策

目的	「数値目標を伴わない省エネ」に取り組む。
期間	6月1日（日）～9月30日（火）の平日
時間	9時～20時

#### 2. 2025（令和7）年度 今冬の省エネルギー対策

目的	「数値目標を伴わない省エネ」に取り組む。
期間	11月1日（土）～4月30日（木）の平日
時間	9時～20時

#### 3. 通年実施の省エネルギー対策

1年を通して省エネルギー対策を継続的に実施し、個々人の意識的な参加が必要な取り組みについて、大学全体に共有することで教職員・学生に理解を促す。



#### 関連するSDGs





障がいのある学生を対象とした就職支援

障がい者手帳の有無は不問です

キャリアセンター

就職1係

就職活動を考えている障がいのある学生に向けたイベントを開催しました。

1. 障がい学生のための就職ガイダンス

日時：2025年1月10日（金）16:20～17:50

形式：対面（3号館3-804）またはオンライン

内容：ハローワーク職員による就職活動の進め方や準備のポイントを解説

2. 障がい学生採用側のホンネ～企業と考える就活と働き方～

日時：2025年2月7日（金）14:40～16:10

形式：オンライン（ZOOM）

内容：電通グループ、日本IBMの採用担当者によるパネルディスカッション  
質疑応答

3. 心身に不安がある学生・障がいのある学生のための就職ガイダンス

●第1回ガイダンス

日時：2025年7月1日（火）14:40～17:50

場所：3号館3-306

対象：全学年

講師：株式会社サーナ

概要：講師による講演と個別相談

- ・障がい者雇用制度と雇用率について
- ・就職活動のスケジュールについて
- ・障がい学生向けのインターンシップについて
- ・自己分析について
- ・一般採用と障がい者採用について
- ・企業の具体的な配慮事例について



●第2回ガイダンス

日時：2025年11月28日（金）14:40～17:50

場所：3号館3-306

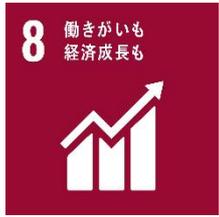
対象：全学年

講師：ウェルビー株式会社

概要：講師による講演と個別相談

- ・障がい者雇用制度と一般採用のちがい
- ・自己理解（自分の特性をどう企業に伝えるか）
- ・事例紹介（企業は実際にどんな配慮をしているか）





留学生を対象とした就職活動支援	
在留資格を持つ留学生対象	
キャリアセンター	就職1係

在留資格を持つ留学生向けの就職ガイダンスを開催しました。  
 留学生が日本で就職活動を行う上で重要な情報を説明するほか、  
 現時点で進路が未定でも、ビザの切り替え等についても説明しました。

- 日程：2025年5月27日（火）4時限（14:40～16:10）  
 場所：3号館3-306  
 対象：全学年  
 （学部3・4年生、修士1・2年生は原則参加必須）
- 概要：
  - ・在留資格について
  - ・日本での就職活動について
  - ・留学生向け求人票の注意点 など
- 講師：東京外国人雇用サービスセンター





## ダイバーシティ推進企画「駒澤大学Colors of Campus」

ロゴを定め、学内の多様性に焦点を当てた研修を部署横断的に実施

学生支援センター

学生支援推進課・学生支援相談課

2025年11月に、新たな研修企画群として、駒澤大学ダイバーシティ推進委員会との共催により「駒澤大学ダイバーシティ月間 ~ Colors of Campus」を開催しました。

本学は、「駒澤大学ダイバーシティ推進に関する基本方針」に則り、包括的で多様性を尊重する社会の実現を目指しています。この目標を、より深く実践的なものとし、多様な背景を持つ学生・教職員が互いを理解し尊重しあえる魅力あるキャンパスの実現を目指して、学内の多様性に焦点を当てた企画・研修を部署横断的にひとつの企画群としてとりまとめ、「駒澤大学ダイバーシティ月間 ~ Colors of Campus」として開催しました。

開催にあたっては、ひとつのテーマによってとりまとめられた企画群であることを示すために「駒澤大学Colors of Campus」のロゴを定め、周知・広報に活用できるようにしました。この「駒澤大学Colors of Campus」では、「Colors」を「多様性」を意味するものとしており、右のロゴは「多様性」「調和」「希望」「前向きな変化」「未来への挑戦」を表しています。



## 【2025年度秋季「駒澤大学ダイバーシティ月間 Colors of Campus」企画／11月開催分】

- ①グローバルサロン（国際センター）  
交換留学生と駒大生が集まり、様々なトピックを好きな言語で話せる場。異文化交流を支援。
- ②車椅子体験会（学生支援センター）  
身体的障がいに対する理解促進とキャンパス内のアクセシビリティの意識向上。
- ③聴覚障がい体験会（学生支援センター）  
コミュニケーションにおける障壁の理解と、聴覚障がい学生への適切な支援方法の習得。
- ④視覚障がい体験会（学生支援センター）  
視界や光を遮断するアイマスクを使用し障壁を理解。
- ⑤生理を理解しようとするセミナー・生理痛VR体験会（学生支援センター）  
ジェンダーギャップ、ジェンダーヘルスケアの知識習得と、性差・個人差に基づく配慮の推進。
- ⑥心や体に不安がある学生、障がいを有する学生向け 就職活動の進め方（キャリアセンター）  
外部講師を招聘した障がい学生支援ガイダンス。職業選択の機会とスキル獲得を支援。
- ⑦学生支援という視点からみた精神・発達障害（学生支援センター）  
実例に則った学部等別の教員向け研修を開催。
- ⑧ともに学ぶキャンパスをつくる～ノートテイクから始まるピアサポート（学生支援センター）  
ピアサポーターの活動内容を紹介し、次期ピアサポーター養成のための体験会を学生に案内。  
「ともに学ぶとは？」をテーマに、障がい学生、ピア学生の対話形式のセッションを実施。
- ⑨講演会「違いを楽しみ、力にかえる」（学生支援センター）  
羽衣国際大学教授 にしゃんた氏を招聘し、多文化共生をテーマに、新たな豊かさや活力を生み出す、価値観の多様性について講演。

関連するSDGs





## 学生サポートワークショップ

車いす・聴覚障がい・視覚障がい体験会、トークセッションを実施

学生支援センター

学生支援推進課・学生支援相談課

「学生対応の質向上」を目的とする「学生サポートワークショップ」として、2025年11月には車いす体験会、聴覚障がい体験会、視覚障がい体験会、障がい学生とピアサポート学生のトークセッション（ともにまなぶキャンパスをつくる～ノートテイクから始まるピアサポート）を開催しました。教職員・学生を対象とし、延べ45名が参加しました。

本ワークショップでは、本学の障がい学生支援コーディネーターによる支援制度や合理的配慮に関する説明に加え、各種障がいの疑似体験を実施しました。また、障がい学生支援を利用している学生と、支援に携わるピアサポート学生によるトークセッションを通じて、障がい学生の学生生活の実際や、大学における合理的配慮のあり方について理解を深める機会となりました。

これらの取り組みを通じて、教職員および学生が障がい学生支援を自分事として捉え、同じキャンパスでともに学ぶための視点や対話の重要性を共有する機会を提供することができました。

### ①車いす体験会

日時：2025年11月5日（水） 場所：駒沢キャンパス内  
 講師：坂田 侑奈 氏（障がい学生支援コーディネーター）  
 車椅子貸与協力：社会福祉学専攻・教職課程部門・禅文化歴史博物館  
 参加者数：16人（教職員13、学生3）

### ②聴覚障がい体験会

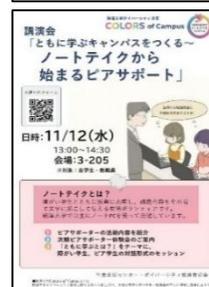
日時：2025年11月6日（木） 場所：駒沢キャンパス種月館（3号館）教場  
 講師：坂田 侑奈 氏（障がい学生支援コーディネーター）  
 参加者数：9人（教職員8、学生1）

### ③視覚障がい体験会

日時：2025年11月13日（木） 場所：駒沢キャンパス種月館（3号館）教場  
 講師：坂田 侑奈 氏（障がい学生支援コーディネーター）  
 参加者数：10人（教職員8、学生2）

### ④トークセッション：ともにまなぶキャンパスをつくる～ノートテイクから始まるピアサポート

日時：2025年11月12日（水） 場所：駒沢キャンパス種月館（3号館）教場  
 発表者：障がい学生2人・ピアサポート学生4人  
 参加者数：10人（教職員8、学生2）



関連するSDG





## 令和7年度ダイバーシティ研修開催

テーマ：「学生支援の視点から見た精神・発達障がい」

学生支援センター

学生支援推進課・学生支援相談課

駒澤大学ダイバーシティ推進事業の一環として、駒澤大学ダイバーシティ推進委員会と学生支援センターとの共催による「駒澤大学ダイバーシティ月間 ～ Colors of Campus」を企画し、その一環として、令和7年度ダイバーシティ研修会を実施しました。

支援ニーズの高い精神・発達障害について、全学的支援体制を再確認し効果的な支援を提供するため「学生支援の視点から見た精神・発達障害」をテーマに学部等の単位で開催しました。

テーマ：「学生支援の視点から見た精神・発達障害」

**概要：**身体の障害に比べ外見上わかりにくさがあるゆえに、本人の困難さが伝わりにくく、周囲には理解できないという事態が生じやすい。一方、行動や発言には独特なものあり、場合によっては奇異さが際立ち他の学生に負の影響を及ぼすことも少なくない。このような精神・発達障害について、学生支援という視点からその特徴、病態、行動・思考様式などをとらえ、学生生活にどのような支障が生じ得るのか、その支障にどのように対応していくのが好ましいのか、認識を共有する。

講師：学生支援センター(学生支援相談室)カウンセラー 渡邊 浩司 氏

対象：専任教員(全学部対象)

実施日：2025年 7月 8日 (火) グローバル・メディア・スタディーズ学部  
 2025年11月21日 (金) 経営学部  
 2025年12月12日 (金) 法学部  
 2025年12月18日 (木) 文学部  
 2026年 1月15日 (木) 医療健康科学部  
 2026年 1月21日 (水) 総合教育研究部  
 2026年 2月10日 (火) 仏教学部  
 2026年 2月13日 (金) 法科大学院  
 2026年 2月16日 (月) 経済学部



関連するSDG





## 令和7年度ダイバーシティ講演会

テーマ： 違いを楽しみ、力にかえる

学生支援センター

学生支援推進課・学生支援相談課

駒澤大学ダイバーシティ推進事業の一環として、駒澤大学ダイバーシティ推進委員会と学生支援センターとの共催による「駒澤大学ダイバーシティ月間 ~ Colors of Campus」を企画し、その一環として、令和7年度ダイバーシティ講演会を実施しました。

講演会には多数の学生・教職員が参加し、学生からは講師の貴重な体験から語られる「違い」を聞くことにより、「『違い』という言葉に持っていたネガティブなイメージが変わった。」などの感想が寄せられました。

テーマ：「違いを楽しみ、力にかえる」

講師：にしゃんた氏  
(ダイバーシティスピーカー(多様性の語り部)  
博士(経済学)・羽衣国際大学教授・タレント)

対象：駒澤大学 学生・教職員

実施日：2025年11月28日(金) 15:00~16:20

開場：駒澤大学 駒沢キャンパス種月館 種月ホール  
(3号館410教場)

駒澤大学ダイバーシティ月間  
COLORS of Campus

講演会  
「違いを楽しみ、力にかえる」

講師 にしゃんた  
羽衣国際大学教授/タレント/  
ダイバーシティスピーカー(多様性の語り部)

申込フォーム

日時: 11/28(金)  
15:00~16:20  
会場: 3-410 種月ホール  
※対象: 全学生・教職員

私たちは、周りの「違い」と「変化」しかない世の中で生き、生かされて、そこから逃れることはできません。多様性と環境の変化を受け入れることが人間としての豊かさを奪います。多文化共生とは、「する、しない」「したい、したくない」という選択ではなく、「どのように共生し、どのような社会を目指すのか」ということです。「違い」と正しく関わり、「違い」を受け入れて、「違い」を力にかえる。新たな豊かさや活力を生み出す、価値観の多様性についてお話しします。

講師略歴  
1969年 スリランカ生まれ  
1987年 ポーイスカウトの員として初来日  
1993年 立命館大学経営学部卒  
2002年 龍谷大学大学院経済学研究科博士後期課程修了  
2004年 山口県立大学国際文化学部准教授  
2010年 羽衣国際大学現代社会学部教授

学生支援センター・ダイバーシティ推進委員会

■駒澤大学Colors of Campusは、駒澤大学ダイバーシティ推進に関する基本方針に基づき、多様な背景を持つ学生・教職員が互いを理解し尊重しあえる、豊かさを生み出すための取組を実施するものです。



関連するSDG





## 障がい学生支援ピアサポーター

「ピアサポーター(情報保障)」オープンバッジの発行を開始しました

学生支援センター

学生支援相談課

障害学生支援のピアサポーターに対し、[オープンバッジの発行を開始](#)しました。詳細は以下のとおりです。

発行名称：「ピアサポーター（情報保障）」 Peer Supporter(Information Accessibility)

発行条件：障害に関する知識とパソコンノートテイクに必要な技術を身につけ、聴覚障害学生への情報保障を目的としたパソコンを利用した活動に参加した。本バッジ取得に認められる技能は次のとおりとする。

- 2021年度改正「障害者差別解消法」の内容並びに障害による社会的障壁を取り除くための合理的配慮の提供について理解した。
- 講義等の音声情報を文字情報に変換し、聴覚障害のある学生へ情報を提供する活動に参加し、タイピングスキルとパソコンノートテイクに必要な技能を修得した。
- 障害のある学生の支援活動に参加することで、「情報保障に必要な技術」のほかに、「コミュニケーション能力」「協調性」「責任感」「主体性」が身についた。

取得条件：パソコンノートテイクに関する練習会や講座に参加し、情報保障に必要な基礎知識とパソコン技能を身につける。  
複数人による連携入力技能や十分なタイピングスキルを修得したうえで、駒澤大学の正課授業におけるパソコンノートテイク実務経験がある。

「合理的配慮のための情報保障プログラム」



駒澤大学の主催する講座等に参加し、障害者に対する合理的配慮の概念を理解する。

To understand the concept of reasonable accommodation for persons with disabilities by attending classes, etc. organized by Komazawa University.

聴覚障害に関する知識（情報保障の必要性、聞こえのしくみと聴覚障害の原因、聴覚補償）を学び、聴覚障害者とのコミュニケーションを円滑にできる。

To learn about hearing loss (the need for information security, how hearing works and the causes of hearing loss, and hearing compensation) to facilitate communication with people with hearing loss.

パソコンノートテイク練習会に出席し、情報保障に必要な技術を身につける。

To attend computer note-taking practice sessions to acquire the skills necessary to guarantee information accessibility.

駒澤大学で前期または後期の半年間、正課授業でパソコンノートテイクを行う。

To serve as a PC note taker in a regular class at Komazawa University for 6 months, either in the first or second semester.

関連するSDG





新しい時代に通用する国際感覚を！

国際センター

本学は、持続可能な社会の実現に貢献するグローバル人材の育成を目指しています。現在、世界19カ国・地域の大学と国際交流協定を締結しており、2025年度には新たに9校と協定を結び、そのネットワークは計48校に拡大しました。

多様な文化や価値観を尊重し合う相互の信頼関係を礎に、交換留学や短期語学セミナーといった学びの場を創出することで、国境を越えた慈悲の心を育み、国際的な教育・研究協力を推進しています。



関連するSDG





## 体験型防災イベント「駒大防災ハロウィン」

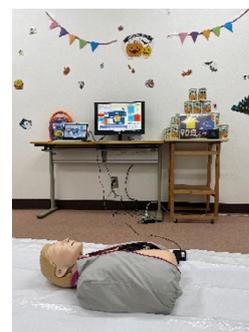
学生支援センター

学生支援推進課 学生支援推進係

10月28日（火）～30日（木）の期間、駒沢キャンパスで体験型防災イベント「[駒大防災ハロウィン](#)」を開催しました。

このイベントは、参加者の防災意識を高めることを目的としています。学生や教職員だけでなく、地域住民の方々にも広く参加いただき、普段は非公開の大学防災庫のツアーや防災に関する体験を提供しました。今回は企業（能美防災）や自治体（世田谷区）の協力のもと、「駒大防災庫バックヤードツアー」「炊き出し訓練」「防災体験」「防災VR体験」「救急救命体験」の5つのアトラクションを用意しました。

参加人数は延べ1,688人となり、当日はフジテレビの取材を受け、夕方の報道番組で生中継も行われました。参加者からは「防災倉庫を見学でき、私の通う大学にはこんなにしっかり備えがあるんだと思いとても頼もしい」「保管期限後の非常食を無料で手に入れることが出来て、嬉しかった」「消火器の使い方を知らなかったが、初期消火で知ることができた」「火事の煙の恐ろしさを知った。もしものことに備えようと本気で思った。同時にこのような現場の第一戦にある消防士さんには頭が上がらないなとも感じた」「このように経験することにより、実際に災害が起きた際に落ち着いて対応できるのかなと思った」「人生初のアルファ米だったがとても美味しかった」「心臓マッサージのシュミレーションがモニターで見やすかったのでフィードバックもしやすかった」といった感想が寄せられ、防災意識を高める有意義な機会となりました。



関連するSDGs

12 つくる責任  
つかう責任





法学部内海麻利ゼミナールが世田谷地域「地域交流ラボ」に継続参加

「防災コミュニティラボ」を主宰し、地域活性化に貢献しています！

法学部

内海麻利ゼミナール

法学部の内海麻利ゼミナールは、2023年度より世田谷地域「地域交流ラボ」に継続的に参加し、防災についての研究を深め、進化系防災訓練「防災コミュニティラボ」を開催する等、地域防災、地域活性化に貢献しています。

この度、その活動の成果が認められ、東京消防庁が主催する2025年度の「第22回地域の防火防災功労賞」において、「優良賞（方面本部長賞）」を受賞しました。この賞は、地域防災力の向上に顕著な貢献をした団体に贈られるものです。今年度応募のあった65例の中から、世田谷区と連携して取り組む「地域防災リーダー育成プログラム」の一環である、「進化系防災訓練『防災コミュニティラボ』～地域の人たちと進化する防災訓練～」の活動が高く評価され、受賞が決定しました。

「防災コミュニティラボ」は、楽しく頭と体を動かして防災意識を高める取り組みであり、参加者同士が交流し、絆を深められることから、地域コミュニティの希薄化への対策や防災訓練への参加率の改善にも役立つ活動として、世田谷区と協力して実施してきました。

2025年度の進化系防災訓練「防災コミュニティラボ」は、10月24日（金）に開催され、当日は、駒沢小学校4年生の授業の一環として、学生が企画した「防災競技」（災害時に役立つ行動を実践する）、「防災クイズ」（クイズを通じて身近な防災知識を身に付ける）、「防災すごろく」（災害時に大切なことやとるべき行動を知る）という3つの種目を実施しました。



関連するSDGs





## 2025(令和7)年度 駒大生社会連携アイデアコンテスト

地域のポテンシャルを最大限に引き出す新たな移動創出のアイデア

学術研究推進部

社会連携課(社会連携センター)

[駒大生社会連携アイデアコンテスト](#)は、本学と関わりのある企業や組織から発せられた社会的課題について、本学の学生が若者ならではの自由闊達な想像力と本学で学んだ知識を活かして、サステナブル(持続可能)な解決策を提案し、価値共創への参画を試みようとする事業です。

「[令和7年度 駒大生社会連携アイデアコンテスト](#)」は、共催企業である東急電鉄株式会社と本学が、持続可能な社会への貢献、特に駒沢の地を中心としたまちづくり、未来づくりに寄与することを期待して、「[地域のポテンシャルを最大限に引き出す新たな移動創出のアイデア](#)」をテーマに開催しました。

田園都市線池尻大橋駅～用賀駅のリニューアルプロジェクトである「Green UNDER GROUND」の第1弾として2025年3月31日(月)にリニューアル工事が竣工した駒沢大学駅は、本学にとって馴染みの深い移動の拠点です。この駒沢大学駅を中心として、「ポテンシャルを活かしたアイデア」、「地域拠点やメディアを活かした地域活性化のプロモーションアイデア」、「学生と地域がともに作る未来」、「新たな移動創出につながるプロモーション」をキーワードにアイデアが募集されました。



9月19日(金)の応募締め切りまでに、計16件のアイデアが集まり、第1次審査(書類審査)を通過したファイナリスト5組が、11月29日(土)に開催された第2次審査審査(プレゼンテーション審査)に進み、厳正なる[審査の結果](#)、最優秀賞をはじめとした各賞が選ばれました。

審査員からは、学生のひらめきと実行力について、まちの未来を動かす原動力であるといった[コメント](#)をいただきました。

各賞受賞者には、本学からの副賞に加えて、東急電鉄株式会社より、駒沢大学駅ホームページへの記事掲載、駒沢大学駅サインージ(GUG PLATFORM)での作品放映、駒沢大学駅構内(改札内)での受賞作品の掲出といった体験型の副賞が提供されました。



関連するSDGs





「上馬クリーンキャンペーン」

周辺地域の清掃活動に参加しました

総務部

6月6日（金）、10月3日（金）、「[上馬クリーンキャンペーン](#)」が行われ、学生有志と職員が参加しました。

当日は朝7時40分に大学に集合し、地域の方々とともに世田谷区の上馬地区の清掃活動を実施しました。

今回は、オータムフェスティバル実行委員会、任意団体サークルの「ECO・環境保護サークル Green Grow」、グローバル・メディア・スタディーズ学部の 服部 哲 ゼミにご協力いただきました。

周辺地域の美化活動に取り組むとともに、清掃活動に参加した地域の方々との交流を深めました。



関連するSDGs



深沢キャンパス「日本庭園」の一般開放

深沢校舎事務室

2006（平成18）年に建設され、大学院の講義室や各研究室、公開講座などに利用できるホールが設置されている駒澤大学深沢キャンパスには、昭和を代表する建築家である吉田五十八氏が設計した旧三越迎賓館（1972年完成）が現存するほか、和室を備えた日本館と、その周囲には日本庭園や茶室「而今庵」があります。例年、桜の美しい春季・紅葉の彩り鮮やかな秋季に庭園を開放しています。

2025年は、深沢校舎・洋館・外壁改修工事のため、春の庭園開放はできませんでしたが、[秋季庭園開放](#)（11月24日～12月8日）には、近隣の方々などに美しい紅葉のひと時をお楽しみいただきました。





駒澤大学古本募金

不要となった書籍等を寄付に

募金事務室

駒澤大学では、皆さまからご不要となった書籍(CD・DVD・ゲームソフトを含む)をご提供いただき、その買取金額が駒澤大学への寄付となり図書館資料の充実に役立てられる「[駒澤大学古本募金](#)」を実施しています。

これらの取り組みは、以下の方法で行っています。

【WEBサイトからのお申込み】

ご不要となった書籍等(CD・DVD・ゲームソフトを含む)を段ボール箱に詰め、WEBサイトからお申込みください。ご指定の時間にご自宅まで宅配業者が伺います。

取り扱い対象商品5点以上であれば送料は無料です。(5点未満の場合、1箱につき500円が査定額より差し引かれます。)

【学内回収ボックスのご利用】

ご不要となった書籍等(CD・DVD・ゲームソフトを含む)を学内に設置した回収ボックスにそのまま入れてください。

お申込み手続きは不要です。回収ボックスをご利用の場合、ご提供いただいた書籍等は駒澤大学からまとめて集荷を申し込むため、個別の査定結果の報告及び領収証の発行には対応できません。

＝学内回収ボックス設置場所＝

- ◆第一研究館 2階 受付検収窓口前
- ◆第二研究館 1階 受付検収窓口前
- ◆講師控室内
- ◆種月館(3号館)4階 情報グループ学習室「PAO」前
- ◆本部棟1階 財務部掲示板前

2024年度実績(4月～3月)

買取冊数 3,325冊  
寄付金額 758,105円

2025年度実績(4月～12月)

買取冊数 2,280冊  
寄付金額 531,532円



**駒澤大学古本募金**  
不要となった書籍等(CD・DVDを含む)をご提供いただき、その買取金額が本学への寄付となって、図書館資料の充実に役立てられる取り組みです。  
ISBNコードおよびバーコードがついている書籍、表紙などに規格番号のついたCDやDVD、ゲームなどが対象となります。

**学内回収ボックス設置場所**

- ◆第一研究館 2階 受付検収窓口前
- ◆第二研究館 1階 受付検収窓口前
- ◆講師控室内
- ◆種月館(3号館)4階 情報グループ学習室「PAO」前
- ◆本部棟1階 財務部掲示板前

※1度に30冊以上の書籍等をご提供くださる場合は、募金事務室へご連絡ください。

駒澤大学古本募金 Webサイト  
担当：募金事務室(本部棟1階)

駒澤大学古本募金は、SDGs17の目標のうち「4. 質の高い教育をみんなに」、「12. つくる責任つかう責任」、「17. パートナーシップで目標を達成しよう」に貢献する取り組みとして実施しています。

関連するSDG





## 産学連携プロジェクト「Stepping Stone」に参画

フェアトレードを広げるために活動を続けています

経済学部

山中 達也ゼミナール

経済学部経済学科の山中達也ゼミは、フェアトレードを広めるため、産学連携フェアトレードプロジェクト「Stepping Stone（ステッピング・ストーン）」に参画しています。

### 【産学連携フェアトレードプロジェクト「Stepping Stone」の概要】

Stepping Stoneは、現役大学生が主体となり、フェアトレード商品の企画・デザイン・販売戦略までを一貫して行う産学連携プロジェクトです。2021年4月、コロナ禍で苦境に立たされたインドのコットン生産者や製品工場と協力するかたちでスタートしました。

ステッピングストーンという「飛び石」「足掛かり」の意味を持つ名称の通り、大学、企業、国境、そして消費者の壁を越えてフェアトレードを広めることを目的として活動してきました。

#### 1. プロジェクトの主要メンバー

- ・ 参加大学：明治大学、法政大学、関西大学、東洋大学、名古屋外国語大学、駒澤大学（山中ゼミ）
- ・ 株式会社Suvastra Japan（スバストラジャパン）
- ・ インドのフェアトレード認証工場「Suvastra India」
- ・ 特定非営利活動法人フェアトレード・ラベル・ジャパン



#### 2. プロジェクトの主な活動内容

学生たちは約1年をかけて、商品企画、デザイン・設計、プレゼンテーション、販売・プロモーションといったステップをビジネスの実践として経験します。

#### 3. 山中ゼミの主な実績例

山中ゼミは、理論と実務を結びつける活動として本プロジェクトに深く関わってきました。

- ・ ホテル連携商品の開発：  
「ホテル JAL シティ羽田 東京」などの宿泊プラン特典として、「国際フェアトレード認証コットン使用 2Way 巾着ポーチ」を考案。地域の魅力（穴守稲荷など）をデザインに取り入れ、宿泊客が日常でフェアトレードに触れるきっかけを作りました。
- ・ コンセプト：  
「フェアトレードをもっと身近に、自分へのイイコトが社会のイイコトに」を掲げ、消費者が「可愛い」「便利」と感じることを入り口にした社会貢献を提案しています。

#### 4. プロジェクトの社会的評価

2025年には、本プロジェクトを主導するSuvastra Japanが、各大学との連携実績を評価され、[「第2回フェアトレード・ジャパン・アワード」のパートナーシップ部門で優秀賞を受賞](#)しました。

関連するSDG





## 法科大学院「市民ロースクール」

法科大学院

駒澤大学法科大学院では、世田谷区にある唯一の法科大学院として、身近な法律の問題に関する情報や知識を提供するための連続講座「[市民ロースクール](#)」を開催しています。

各界の公演映像は、一部を除き、本講座を後援する「せたがやeカレッジ」にて無料公開していますので、どなたでもご覧いただけます。

[第24回 市民ロースクール](#) 【2025年6月28日（土）10：00～11：30】

「事故と家族の損害賠償責任」

[第25回 市民ロースクール](#) 【2025年12月20日（土）10：00～11：30】

「なぜ今、ビジネスにおいて人権を求められているのか」

関連するSDGs



## 法科大学院「無料法律相談」

法科大学院

法曹養成機関である駒澤大学法科大学院においては、法学理論だけでなく実務の基礎についても実践的な教育を必要とします。臨床教育の一環として、また世田谷区唯一の法科大学院としての地域貢献を目的として、年に数回、「[無料法律相談](#)」を開催（共催・後援）しています。

2025年度

春季：[無料法律相談【2025年5月17日（土）】](#)

秋季：[無料法律相談【2025年11月15日（土）】](#)



関連するSDGs





## 2025(令和7)年度「駒大生社会連携プロジェクト」

駒大生による9件の社会連携プロジェクトが実施されました

学術研究推進部

社会連携課(社会連携センター)

駒澤大学では、本学における社会連携・地域貢献にかかわる様々な教職員と学生の活動への支援を目的とした学内公募型の助成「[駒大生社会連携プロジェクト](#)」を、令和4年度から行っております。令和7年度は、計9件の申請があり、外部審査員及び社会連携委員会等で審議した結果、すべてのプロジェクトが採択されました。

## まちづくり・地域づくり部門

【世田谷区の地域資源を活かしたアントレプレナーシップ教育の実践】

(経済学部 現代応用経済学科 長山 宗広 教授)

【玉川地域を中心とした住民福祉活動への学生参加事業】

(文学部 社会学科 川上 富雄 教授)

【駒大生が駒沢のまちづくりにおけるコモンズ形成にどう貢献できるか

—駒沢こもれびプロジェクトへの参与観察を通して】(文学部 社会学科 李 妍焱 教授)

【世田谷のコモン・スペースを発信するコンセプト映像制作】

(経済学部 現代応用経済学科 松本 典子 教授)

【門前町の祭祀再開支援から学ぶ地域復興のフィールドワーク】

(グローバル・メディア・スタディーズ学部 グローバル・メディア学科 柴田 邦臣 教授)

## 産学官連携部門

【駒大生と中小企業家との連携から「令和における『人を生かす経営』」のあり方を探る】

(経済学部 現代応用経済学科 大前 智文 准教授)

## SDGs部門

【幸せ創造企業を実現するには】(経営学部 経営学科 村山 元理 教授)

【RED-RINGプロジェクト：持続可能な放射線教育の深化と波及】

(医療健康科学部 診療放射線技術科学科 村田 渉 講師)

【サステナブル・アクション・プロジェクト(SAP)の広域展開によるサーキュラー・

エコノミーの訴求】(経営学部 市場戦略学科 青木 茂樹 教授)

6月2日(月)に、[採択決定通知書交付式](#)が開催され、村松哲文学長より、採択決定通知書とともに激励のメッセージが送られました。各プロジェクトのメンバーは期間終了まで熱心に活動を続け、大きな成果を挙げました。

プロジェクトの活動内容は、駒大生社会連携プロジェクトのニュースレター『[SEED](#)』のほか、社会連携センターの[公式X](#)及び[公式Instagram](#)において、詳しく紹介しています。





## 台湾・台南市におけるSDGs国際交流活動

### SDGs企画提案プレゼンテーション第1位 ・ SDGs講演

経営学部

小野瀬拓ゼミナール ・ 小野瀬 拓

「台日SDGs交流城市游牧永續台南」は、持続可能な未来をテーマに、台南市の取り組みに関して複数の日本の大学教員と専門家が意見交換を行う国際交流企画です。2025年2月21日（金）から23日（日）にかけて台南市で開催された本企画において、小野瀬ゼミナールの学生チームが企画プレゼンテーションで第1位を受賞し、また、小野瀬拓教授が講演を行いました。

#### 企画プレゼンテーション

本企画のプレゼンテーションは、日本と台湾両国の複数の大学の学生によって実施されました。その目的は台南市におけるSDGsの側面を重視した観光企画を提案することです。参加学生は、2月21日（金）から22日（土）にかけて、沙崙スマートグリーンエネルギーサイエンスシティや蘭亭居ナースィングホームなど市内を視察・見学しました。23日（日）に複数のチームがプレゼンテーションを行い、その結果、駒澤大学・義守大学の合同チーム（小野瀬ゼミ所属学生を含む）が、日台両国のコミュニケーションを重視した企画を提案し、第1位を受賞いたしました。

#### 講演

2月22日（土）には、複数の研究者と専門家による講演会が開催されました。小野瀬拓教授は、“Issues in Entrepreneurship Education and Training for the SDGs (SDGsのための企業家育成の諸問題)”と題して登壇し、2030年以降を見据えたSDGsと企業家育成における課題について指摘しました。





「仏教と人間」レポート課題	
仏教とSDGsの接点を考える	
仏教学部	山口弘江

全学1年次必修「仏教と人間」の担当するクラスでは、「課題授業（2）仏教とSDGsの接点を考える」というテーマでレポートを書いてもらっています。

提出されたレポートの中から興味深いものを選んで授業中に紹介することで、多様な視点があることを学び、SDGsに対する意識を高めるきっかけとしています。

関連するSDGs





## リンク集

その他の取組みについては、大学公式ホームページをご参照ください。

駒澤大学サイトホーム>ニュース

掲載日	テーマ
2025. 02. 10	<a href="#">福島県主催「サイエンスカフェー福島のごちそうと安全について知ろう、話そうー」を開催しました</a>
2025. 03. 05	<a href="#">文学部歴史学科考古学専攻の「考古学発掘実習Ⅱ」の授業の一環として校外実習が行われました</a>
2025. 03. 27	<a href="#">令和6年度「駒大生社会連携プロジェクト」活動報告会を開催しました</a>
2025. 03. 31	<a href="#">「2024（令和6）年度駒澤大学SDGs活動報告書」を発行しました</a>
2025. 04. 16	<a href="#">本学とスペイン・ポンティフィシア・コミージャス大学が国際交流協定を締結</a>
2025. 04. 29	<a href="#">東京税関長が本学を表敬訪問されました</a>
2025. 05. 01	<a href="#">文学部歴史学科考古学専攻の1・2年生が東京国立博物館を見学しました</a>
2025. 05. 20	<a href="#">ボクシング部が「すみだボクシング祭り」に協力しました</a>
2025. 05. 22	<a href="#">文学部歴史学科考古学専攻の1年生を対象とした研修旅行を行いました</a>
2025. 06. 04	<a href="#">令和7年度「駒大生社会連携プロジェクト」採択決定通知書交付式を実施しました</a>
2025. 06. 10	<a href="#">文学部社会学科の松信ゼミがTokyo Pride 2025にボランティア参加しました</a>
2025. 06. 11	<a href="#">周辺地域の清掃活動「上馬クリーンキャンペーン」に参加しました</a>
2025. 06. 12	<a href="#">経済学部現代応用経済学科ラボラトリによる「新入生セミナー」を開催しました</a>
2025. 06. 13	<a href="#">文学部歴史学科考古学専攻の学生が世田谷区奥沢城跡の調査を行いました</a>
2025. 06. 23	<a href="#">経済学部の松本典子教授が「日本比較経営学会奨励賞」を受賞</a>
2025. 08. 27	<a href="#">経済学部松本典子ゼミの有志学生が「用賀サマーフェスティバル」に実行委員として参加</a>



## リンク集

その他の取組みについては、大学公式ホームページをご参照ください。

駒澤大学サイトホーム>ニュース

掲載日	テーマ
2025. 09. 04	<a href="#">「夏休みこどもアカデミー2025」を開催しました</a>
2025. 09. 10	<a href="#">文学部歴史学科考古学専攻の学生が大類古墳群の測量調査を実施しました</a>
2025. 09. 10	<a href="#">文学部歴史学科考古学専攻の4年生がパレオ・ラボでのインターンシップを実施しました</a>
2025. 09. 30	<a href="#">文学部社会学科の松信ひろみゼミが世田谷区内の小学校でLGBTQ+についての出前講座を行いました</a>
2025. 10. 02	<a href="#">法学部政治学科の内海麻利ゼミが東京消防庁「第22回地域の防火防災功労賞」優良賞を受賞</a>
2025. 10. 24	<a href="#">秋田県と「就職支援に関する協定」を締結しました</a>
2025. 10. 27	<a href="#">文学部歴史学科考古学専攻の学生が山東大学文化遺産研究院の方々と交流事業を実施しました</a>
2025. 12. 23	<a href="#">経済学部長山ゼミの学生が「東急世田谷線開通100年 まちづくり考えるワークショップ」に参加しました</a>
2025. 12. 23	<a href="#">苫小牧市と「学生UIターン就職促進に関する協定」を締結しました</a>



## リンク集

その他の取組みについては、大学公式ホームページをご参照ください。

駒澤大学サイトホーム>大学からのお知らせ

掲載日	テーマ
2025. 01. 28	<a href="#">令和6年度「駒大生社会連携プロジェクト」ニュースレターSEED第27号の発行について</a>
2025. 02. 14	<a href="#">2025年度 多子世帯の大学等の授業料等減免について（情報更新）</a>
2024. 03. 27	<a href="#">令和6年度「駒大生社会連携プロジェクト」ニュースレターSEED第28号の発行について</a>
2025. 06. 05	<a href="#">令和7年度「駒大生社会連携プロジェクト」ニュースレターSEED第29号の発行について</a>
2025. 06. 11	<a href="#">令和7年度「駒大生社会連携アイデアコンテスト」のご案内</a>
2025. 07. 25	<a href="#">令和7年度「駒大生社会連携プロジェクト」ニュースレターSEED第30号の発行について</a>
2025. 09. 01	<a href="#">寄付の支払い方法として「PayPay」を導入しました</a>
2025. 09. 29	<a href="#">令和7年度「駒大生社会連携プロジェクト」ニュースレターSEED第31号の発行について</a>
2025. 10. 07	<a href="#">駒澤大学は「Giving Campaign2025」に参加します</a>
2025. 11. 27	<a href="#">令和7年度「駒大生社会連携プロジェクト」ニュースレターSEED第32号の発行について</a>



## リンク集

その他の取組みについては、大学公式ホームページをご参照ください。

### 駒澤大学サイトホーム>イベント

掲載日	テーマ
2024. 12. 10	<a href="#">2024（令和6）年度後期公開講座【1月対面講座】「1行から広がるカフカ的世界」</a>
2024. 12. 10	<a href="#">2024（令和6）年度後期公開講座【1月オンデマンド講座】「サステナブルな社会をつくる思想・制度・戦略-サステナブル・ブランディングの最先端-」</a>
2024. 12. 11	<a href="#">大津ゼミ・姉齒ゼミ合同企画緊急映画会『タクシー運転手 約束は海を越えて』</a>
2024. 12. 20	<a href="#">特別公開「大涅槃図」（2025. 2. 15～2. 28）</a>
2025. 01. 16	<a href="#">駒沢周辺の歴史探索ツアー ―駒沢・深沢にある名建築・庭園を訪ねる旅―</a>
2025. 01. 20	<a href="#">駒澤大学地域グローバル化推進講座「外国語詩を読む」</a>
2025. 01. 20	<a href="#">科研費研究セミナー「緑をめぐる市民的コモンズの可能性を問う」</a>
2025. 02. 04	<a href="#">駒澤大学特別出版助成作品・出版記念セミナー</a>
2025. 03. 11	<a href="#">駒澤大学公開講座 4月オンデマンド講座のご案内</a>
2025. 03. 11	<a href="#">駒澤大学公開講座 4月対面講座のご案内</a>
2025. 03. 27	<a href="#">春季特別公開「正法眼蔵嗣書」・花まつり（2025. 3. 26～4. 8）</a>
2025. 04. 21	<a href="#">有形文化財（建造物）登録記念企画展「大正モダン 復興の図書館」（2025. 5. 12～7. 31）</a>
2025. 06. 02	<a href="#">第24回市民ロースクール「事故と家族の損害賠償責任」のお知らせ</a>
2025. 06. 03	<a href="#">令和7年度第1回駒澤大学仏教学会研究発表会のお知らせ</a>
2025. 06. 19	<a href="#">夏の特別企画 学芸員とめぐる「禅の世界」開催8日程（2025. 7. 19～30）</a>
2025. 06. 19	<a href="#">夏休み子どもぜんぱく（2025. 7. 19～7. 29）</a>
2025. 06. 19	<a href="#">第204回宗教学研究会「民俗社会における仏教実践へのパースペクティブ」</a>
2025. 06. 20	<a href="#">夏休みこどもアカデミー2025「放射線と防護材の相性を学ぶ！ 科学×カードゲーム講座 ―放射線お化けから身を守ろう！―」</a>



## リンク集

その他の取組みについては、大学公式ホームページをご参照ください。

### 駒澤大学サイトホーム>イベント

掲載日	テーマ
2025. 07. 01	<a href="#">2025年度 第1回総合教育研究部自然科学部門 公開講演会</a>
2025. 07. 07	<a href="#">2025年度 駒澤大学大学院グローバル・メディア研究科講演会</a>
2025. 09. 01	<a href="#">グローバル・メディア・スタディーズ学部 高 媛 教授著『帝国と観光——「満洲」ツーリズムの近代』出版記念シンポジウム開催のご案内</a>
2025. 09. 16	<a href="#">没後60年企画展「澤木興道老師と駒澤大学 ～只管打坐と行雲流水を貫いた禅僧～」 (2025. 10. 6～11. 15)</a>
2025. 09. 16	<a href="#">第46回禅博セミナー「駒澤大学に坐禅の授業を始めた澤木興道という人」 (2025. 10. 29)</a>
2025. 10. 01	<a href="#">令和7年度第2回駒澤大学仏教学会研究発表会のお知らせ</a>
2025. 10. 08	<a href="#">令和7年度地理学科第2回公開講演会「流山市発展のひみつ」(流山市長・井崎義治氏)</a>
2025. 10. 09	<a href="#">2025年度駒澤大学経済学部公開講座のお知らせ</a>
2025. 10. 20	<a href="#">駒大防災ハロウィン</a>
2025. 10. 27	<a href="#">駒大生社会連携プロジェクト企画 「第2回放射線リテラシー交流会～僕らのラジエーションアカデミア!～」開催</a>
2025. 10. 28	<a href="#">禅研究所公開研究会《「人間らしさ」から「生き方」への探究》</a>
2025. 11. 05	<a href="#">特別公開「出山釈迦図」(2025. 12. 1～12. 12)</a>
2025. 11. 05	<a href="#">駒澤大学総合教育研究部文化学部門主催・駒沢宗教学研究会共催 公開講演会</a>
2025. 11. 11	<a href="#">令和7年度第1回駒澤大学仏教学会公開講演会のお知らせ</a>
2025. 11. 11	<a href="#">駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部主催・大学院グローバル・メディア研究科共催 『エラスムス像の謎』出版記念講演会・パネルディスカッションのお知らせ</a>
2025. 11. 12	<a href="#">深沢キャンパス庭園開放のご案内</a>
2025. 11. 12	<a href="#">駒大生社会連携プロジェクト公開ゼミイベント TOWA RADIO Vol.1「主体性ってデザインできる? 若者×地域×ぶっちゃけトーク」</a>

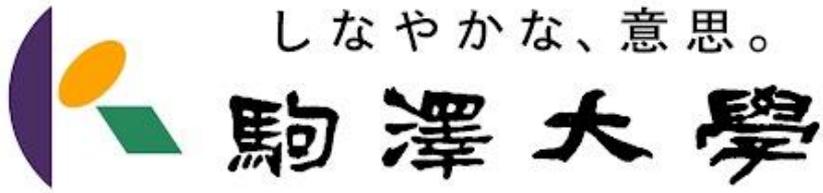


## リンク集

その他の取組みについては、大学公式ホームページをご参照ください。

### 駒澤大学サイトホーム>イベント

掲載日	テーマ
2025. 11. 14	<a href="#">令和7年度第68回駒澤大学国文学大会のご案内</a>
2025. 11. 21	<a href="#">公開講演会「ムスタン・トルポ地域の遺宝」のお知らせ</a>
2025. 11. 24	<a href="#">教職課程部門主催公開講演会「こどものレンズ・大人のレンズー現代を生きる子ども世界のミカター」のお知らせ</a>
2025. 11. 27	<a href="#">法学部三竹ゼミ企画 『荒野に希望の灯をともし』上映会のお知らせ</a>
2025. 12. 01	<a href="#">第25回市民ロースクール「なぜ今、ビジネスにおいて人権を求められているのか」のお知らせ</a>



発行日 2026（令和8）年3月31日  
発行 駒澤大学社会連携委員会  
事務局 駒澤大学 学術研究推進部 社会連携課（社会連携センター）